

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2025年			
6月 21日(土)	第3回 環境技術学会技術セミナー 「PFAS問題－基礎から研究最前線まで」	京都, オンライン	48巻4号
24日(火)	第45回通常総会	東京	本号
25日(水)～26日(木)	第30回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	京都	本号
7月 3日(木)	第23回上下水道膜セミナー・見学会	沖縄	48巻5号
5日(土)～6日(日)	WET2025 (Water and Environment Technology Conference 2025)	新潟	本号
21日(月)～25日(金)	第20回世界湖沼会議(WLC20) 湖沼の声：統合的流域管理をめざして	オーストラリア	48巻4号
8月 26日(火)	第34回市民セミナー 「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」(仮)	オンライン	本号
9月 2日(火)～4日(木)	第20回人工湿地ワークショップ2025 in 富良野 ～人工湿地技術の最前線～	北海道	本号
10日(水)～12日(金)	12 th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025	トルコ	本号
17日(水)～19日(金)	第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	本号
29日(月)～ 10月3日(金)	10 th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
2026年			
3月 9日(月)～11日(水)	第60回日本水環境学会年会	東京	

会員登録データ変更の届け出について(お願い)

住所, 所属変更等, 本会に登録されているデータに変更のあった場合には, ホームページの会員専用ページ(<https://www.jswe.or.jp/member/>)よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方, 登録アドレスを忘れた方は, メール(member@jswe.or.jp(@は半角))またはFaxにてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎(4月→3月)の扱いで, 退会のお手続きがない場合には, 自動的に会員登録が継続となります。なお, 学生会員は年度ごとの資格ですので, 2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は, 満65歳以上で, 水環境関連分野に従事, または関心を有し, 本会に対し功労のあった個人を対象とするもので, 学会コミュニティにおいて, 継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト(<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>)をご覧ください。

本会関連行事

第45回 通常総会のお知らせ

下記の通り第45回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、総会にあわせて受賞者講演および特別講演を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に關しての手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は5月20日（火）～6月23日（月）午後4時まで）。学会ホームページからのお手続きがどうしても難しい場合には、6月5日（木）までにその旨を氏名および会員番号とともに事務局（電話 03-3632-5351、メール soum@jswe.or.jp（@は半角））へご連絡ください。出欠連絡、委任および議決権行使に關する紙面による回答票をお送りいたします。また、団体正会員の方で総会当日出席者が団体代表者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意していますのでお問い合わせください。

この度の総会では第2号議案において定款変更を予定しております。そのため、総正会員の議決権の3分の2以上の多数を集めなければ議決できません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 2025年6月24日（火）13:00～17:00
 （表彰式、受賞者講演および特別講演を含む）
場 所 タワーホール船堀 4階「研修室」
 （東京都江戸川区船堀 4-1-1 Tel：03-5676-2211/ 都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩1分）
<https://www.towerhall.jp/access/>

プログラム（予定）：

- ・総会（本会正会員のみ）
- ・表彰式
- ・受賞者講演
- ・特別講演（開始予定：16:00）

「上下水道行政の新たな展開」

松原 誠 氏（国土交通省上下水道審議官）

参加費無料

終了後に懇親会を開催する予定です。（会費：6,000円、当日現金受付）

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加（無料）も歓迎いたします。

Water and Environment Technology Conference (WET2025)

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催いたします。

主 催 日本水環境学会
期 日 2025年7月5日（土）～6日（日）
場 所 アオーレ長岡（新潟県長岡市大手通1丁目4番地10）<https://ao-re.jp/>
交 通 JR長岡駅から徒歩3分
内 容 口頭発表（数分）とポスター発表のハイブリッド発表（現地対面発表のみ）

表 彰

Excellent Poster AwardをWET2025の発表者すべてから、Excellent Paper AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

参加登録

発表者は必ず参加登録が必要となります。今回より、オンラインシステムを用いた事前参加登録と入金、または、当日受付で現金にてお支払いとなります。詳細はWET2025のHPに掲載しております。

参加費

一般	Participant	Speaker
	Early-bird	5,500 JPY
学生	On site	8,000 JPY
	On site	6,000 JPY
	Participant	Speaker
	Early-bird	3,500 JPY
	On site	5,000 JPY
	On site	4,000 JPY

問い合わせ先

WET 事務局

E-mail：wet@jswe.or.jp（@は半角）

第28回 日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第28回日本水環境学会シンポジウムは、下記の要領により、富山県立大学射水キャンパスで開催いたします。

各研究委員会のセッションのほか、特別講演、メタウォーター賞受賞者講演、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、懇親会、テクニカルツアーなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概要

期 日：2025年9月17日（水）～19日（金）
 （19日（金）はテクニカルツアー）
会 場：富山県立大学射水キャンパス（対面形式で開催）
内 容：各研究委員会の主催によるセッション、特別講演、メタウォーター賞受賞者講演、若手研究紹介（オルガノ）セッション、懇親会、テクニカルツアーほか。

後 援：富山県立大学

講演集形式：ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子をご希望の場合は、冊子版有の

参加費となります。

※Wi-Fi の提供はございません。ご自身でご用意をお願いします。

2. 内容

若手研究紹介(オルガノ)セッション(発表審査)

17日(水) 午前

年間優秀論文賞(メタウォーター賞)受賞者講演

17日(水) 17:10~17:50

特別講演「富山県・富山湾の水環境」

18日(木) 午前 (参加無料・申込不要)

表彰式・懇親会(会場:富山県立大学 射水キャンパス食堂)

17日(水) 18:00~19:30 予定

テクニカルツアー

富岩運河水上クルーズ、廻船問屋見学、日本酒セルフ
喇酒等で港町の歴史と水を楽しむ半日ツアーを予定して
おります。詳細は WEB ページをご覧ください。

日 時 2025 年 9 月 19 日(金)

研究委員会セッション

各研究委員会のセッションにつきましては、別表をご
覧ください。セッションの詳細については、各研究委員
会までお問い合わせください。

17日(水) 午前(9:00~12:30) / 午後(13:30~17:00)

18日(木) 午前(9:00~12:30) / 午後(13:30~17:00)

3. 参加申し込み案内

混雑緩和のため事前の参加登録(申し込みと入金)に
ご協力ください。研究発表を申し込まれた方は、必ず参
加登録が必要です。

(1) シンポジウム参加費および懇親会参加費

		予約	当日
(冊子 参加 なし)	正 会 員 (不課税)	4,500円	7,000円
	学生会員 (不課税)	2,000円	4,000円
	非 会 員 一般	17,500円	20,000円
	(課税, 税込み) 学生	7,000円	9,000円
(冊子 参加 有)	正 会 員 (不課税)	7,500円	10,000円
	学生会員 (不課税)	5,000円	7,000円
	非 会 員 一般	20,500円	23,000円
	(課税, 税込み) 学生	10,000円	12,000円
懇親会参加費 (課税, 税込み)		4,000円	5,000円

*1 参加者に同伴して懇親会に参加する家族(小学生以下)
は無料

*2 冊子版有の参加費につきましては、制作費高騰のため、
値上げしております。

キャンセルポリシーについては https://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdf をご覧ください。

(2) 予約申込方法と期限

下記の WEB ページにある「シンポジウム 参加申込」
からお申し込みください。申込受付開始は7月上旬を予
定しています。申込期限は8月21日(木)23時59分
です。また、参加費は8月29日(金)までに指定口座に振

り込んでください。ご入金が確認できない場合は、予約
申込みがキャンセルとなります。当日会場にて参加申込
を行ってください。

お振込後、入金を確認できるまで銀行振込で1~3日、
郵便振替(ゆうちょ銀行への振込を含む)で2~8日かか
ることがありますので、余裕をもってご送金ください。

<https://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・
問い合わせ先にご連絡ください。

(3) 振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異
なる場合や申込番号が記載できない場合は、必ず別途ご
連絡をお願いします。

※参加申込を行ってから、支払いを完了してください。

振込先銀行: 三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号: 4948527

名義: シャ) ニホンミズカンキョウガッカイ

郵便振替※: 00180-5-564127

加入者名: (公社) 日本水環境学会

※通信欄に申込番号を記載してください。

(4) 参加証/講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。領収書は
振替・振込の受領証等をもって代えさせていただきます。
別途、事前に学会名での領収書をご希望の場合は、下記
の連絡・問い合わせ先まで必要事項を記入の上、ご連絡
ください。

(5) 現地受付用の QR コード

期限内に参加登録・入金がお済みの参加者には、現地
受付用の QR コードを事前にお送りする予定です。

4. 託児施設

託児施設を開設する予定です。ご利用を検討される方
は、8月28日(木)までに takuji@jswe.or.jp (@を半
角)までご連絡ください。

5. ホテルと交通手段について

宿泊施設の案内・斡旋等はいませんので、各自で手
配してください。

6. 連絡・問い合わせ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係

東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: nenkai@jswe.or.jp (@を半角)

2025年度 博士研究奨励賞(オルガノ賞) 候補者募集

応募対象者

本年3月末時点で35歳以下の本会会員のうち、博士後
期課程大学院生、もしくは2024年1月1日以降に博士後
期課程において学位(博士)取得した者で、第28回日本

第 28 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催日	公募	連 絡 先
嫌気性微生物処理	嫌気性微生物処理研究の軌跡と未来への挑戦	17日 AM	有り	日高 平 (京都大学) hidaka.taira.4e@kyoto-u.ac.jp
MS 技術	環境汚染物質の探索と実態把握	17日 AM	有り	松村千里 (兵庫県環境研究センター) matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	環境再生保全のための生物生態工学システムの高度化・資源循環・温暖化対策等による流域管理	18日 PM	なし	稲森悠平 (NPO 法人バイオエコ技術研究所) inamori514@gmail.com
身近な生活環境	人口減少・災害時代における水インフラ－私たちの現在地と課題－	18日 AM	有り	柿本貴志 (埼玉県環境科学国際センター) kakimotonrk@gmail.com
微生物生態と水環境工学	Standing on the shoulders of giants: 微生物生態と水環境工学研究の歩みと未来	18日 PM	有り	押木 守 (北海道大学) oshiki@eng.hokudai.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	New Approach Methods (NAMs) の理解と適切な利用に向けて	17日 PM	なし	新野竜大 (三菱ケミカル(株)) tatsuhiko.niino.mp@mcgc.com
水中の健康関連微生物	災害・事故時における健康関連微生物への対応を考える	17日 PM	有り	原本英司 (山梨大学) eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域研究の最前線と北陸沿岸域のいま	18日 AM	有り	藤林 恵 (九州大学) m.fujibayashi@civil.kyushu-u.ac.jp
流域物質動態	流域物質動態モデリングの最新動向	17日 PM	なし	櫻井伸治 (大阪公立大学大学院) sakurai@omu.ac.jp
膜を利用した水処理技術	安全安心な水循環と膜～はたらく細孔～	18日 PM	なし	大和信大 (メタウォーター(株)) yamato-nobuhiro@metawatet.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	促進酸化処理の鍵となる紫外線－その最適な活用法とは？	17日 PM	有り	中村知克 ((株)日本フォトサイエンス) t.nakamura@npsuv.co.jp
産業排水の処理・回収技術	産業排水の処理・回収分野における新たな課題と技術動向	17日 PM	有り	小松和也 (栗田工業(株)) k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	17日 PM	有り	小森正人 ((株)ヤマト 大和環境技術研究所) Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	熱帯亜熱帯地域の水圏環境研究の役割と可能性	18日 PM	有り	宮城俊彦 ((元)沖縄県衛生環境研究所) miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	水・バイオマス分野と農業等の関わり	18日 PM	なし	森田真由美 (月島 JFE アクアソリューション(株)) mayumi_morita@tjas.co.jp
汽水域	集水域の変化と汽水域	17日 AM	なし	山室真澄 (東京大学) yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政	地域からの発信～多様な視点で読み解く水環境～	17日 PM	有り	石井裕一 (東京都環境科学研究所) ishii-y@tokyokankyo.jp, sympto@jswe-local.org
マイクロプラスチック	産官学によるプラスチック問題対策と取り組み現況	18日 PM	有り	鈴木裕識 (岐阜大学) suzuki.yuji.p3@f.gifu-u.ac.jp

水環境学会シンポジウム（2025年9月17日（水）～19日（金）、19日（金）はテクニカルツアー）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象者となります。

ただし、2024年度以前に同賞を受賞された方は対象者になりません。

応募方法

以下の書類を2025年6月25日（水）（締切厳守）までに、電子ファイルとして提出してください。

（1）論文（A4用紙4頁～6頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報 <https://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html> に記載の「博士研究奨励賞（オルガノ賞）応募論文原稿執筆および発表要領」および「原稿書式」を参照してください（英文もあります）。論文は、博士課程における研究成果をまとめたものとしませんが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本会が妨げるものではありません。この論文は一次選考においてのみ使用し、シンポジウム講演集には掲載しません。一次選考通過者には別途、講演集掲載用にA4用紙1ページの要旨を提出していただきます。

（2）関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願いいたします。

- 学術雑誌論文（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとその他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。
- 国際会議講演集（Proceedings など）については、IWA 主催のものとIWA以外のものに分け、発表者を明記してください。
- 国内学会講演集については、本会関連のものと本会以外に分け、発表者を明記してください。

（3）大学卒業以降の履歴書

（4）本会の会員番号

注）応募までに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、一次選考を行います。一次選考の結果は、7月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行います。

一次選考を通過した方は、第28回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9月17日（水））にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は17日（水）夕

方の懇親会にて行います。一次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費、参加費および懇親会参加費が補助されます。一次選考通過者のA4用紙1ページの要旨の提出期限は通常のセッション要旨と同じです。

応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会シンポジウムオルガノセッション係

Tel：03-3632-5351

E-mail：nenkaicom@jswe.or.jp（@は半角）

第34回 市民セミナー

「皆のチカラで推進する水環境プロジェクト」（仮）

主 催 日本水環境学会

後 援 全国環境研協議会（予定）

日 時 2025年8月26日（火）13:00～17:00

開催形式 オンライン（ウェビナーシステム）

講演者（五十音順）

濱 武英 京都大学

牧野奏佳香 福井県立大学

増田 周平 秋田工業高等専門学校

渡部 徹 山形大学

詳細は、次号以降会告・HPにてご案内予定です。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会セミナー係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：seminar_info@jswe.or.jp

第20回 人工湿地ワークショップ2025 in 富良野 ～人工湿地技術の最前線～

主 催 日本水環境学会東北支部人工湿地研究会

期 日 2025年9月2日（火）～4日（木）

場 所 発表会・見学会：富良野市内

オプションツアー：ニセコ町内

スケジュール（予定）

- 9月2日（火） 現地見学会（3ヵ所の人工湿地を見学）
12時 新千歳空港集合・レンタカー（相乗）で現地へ
14時30分～16時30分 見学会
17時30分 旭川駅解散
18時30分 交流会（旭川駅周辺）
- 9月3日（水） 事例研究発表会（富良野市内）
9時 旭川駅集合・レンタカー（相乗）で現地へ
10時 受付開始
10時30分～12時 事例研究発表会（前半）
13時30分～16時 事例研究発表会（後半）
16時30分 レンタカー（相乗）で札幌へ
- 9月4日（木） オプションツアー
（ニセコ別荘地の人工湿地を見学）

10 時 札幌駅集合・レンタカー（相乗）で現地へ
13 時～14 時 30 分 見学会
15 時 現地出発 レンタカー（相乗）で札幌へ
17 時 札幌駅解散

申込方法

事例研究発表会での発表をご希望の方は 8 月 18 日（月）までに、参加をご希望の方は 8 月 22 日（金）までに E-mail にて下記項目を記載の上、お申し込みください。

①参加者名 ②参加者の所属 ③連絡先（E-mail, 携帯電話番号）④研究発表会、交流会（会費 5,000 円）、現地見学会、オブショナルツアーそれぞれの出欠の有無 ⑤事例研究発表の有無、発表題目、発表者名 ⑥その他要望、連絡事項など

参加費 会員 5,000 円、学生 2,500 円、非会員 10,000 円（当日に徴収いたします）

詳細 URL <https://jswetohoku.jp/>

申込・問い合わせ先

日本大学工学部 中野和典

E-mail : nakano.kazunori@nihon-uac.jp

Tel : 024-956-8719

第 30 回 地下水・土壌汚染とその防止対策 に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地下水等の自然由来の汚染や放射性物質による汚染、地盤環境に係るカーボンニュートラル・生態系保全等に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、100 件程度の研究発表や特別講演、企業展示などが行われ、400 名を超える方々のご参加をいただいております。

このたび第 30 回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。本会の土壌地下水汚染研究委員会も協力しています。多くの皆様に、ご発表やご参加をいただきますようご案内申し上げます。

主 催 地盤工学会、日本地下水学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、土壌環境センター

期 日 2025 年 6 月 25 日（水）、26 日（木）

場 所 京都大学 百周年時計台記念館（京都市左京区吉田本町）

内 容（予定）

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、特別講演、企業展示、懇親会

発表／参加申し込み方法

土壌環境センターのホームページから必要事項を入力してお申し込みください。（<http://www.gepc.or.jp/>）

参加費 一般：12,000 円（15,000 円）

学生：4,000 円（5,000 円）

※括弧内は当日受付の場合

詳細 URL <http://gepc.or.jp/kenkyu/30th/>

問い合わせ先

第 30 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 担当：木下（kinoshita@gepc.or.jp）

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 3 階
（一社）土壌環境センター内

Tel : 03-5215-5955 Fax : 03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので、土壌環境センターの HP で必ずご確認ください。

IWA 関連行事

12th IWA Symposium on Waste Management Problems in Agro-Industries AGRO'2025 （第 12 回 IWA 国際シンポジウム： 農産業における廃棄物管理問題－AGRO'2025）

主 催 IWA

期 日 2025 年 9 月 10 日（水）～12 日（金）

場 所 トルコ・イスタンブール

詳しくは下記 URL をご参照ください。

詳細 URL <https://agro2025.itu.edu.tr/>

問い合わせ先

岡山大学・永禮英明

E-mail : nagare-h@okayama-u.ac.jp

10th IWA-ASPIRE Conference

期日：2025 年 9 月 29 日（月）～10 月 3 日（金）

場所：クライストチャーチ、ニュージーランド

詳細 URL : <https://www.iwaaspire2025.org/>

おしらせ

2025 年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2026 年 3 月の日本水環境学会第 60 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下 1)～6) の必要事項を記入の上、7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子

ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス (自薦も可)
- 7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)

提出期限 2025 年 9 月 18 日 (木) (必着) 昨年度から、締め切りを 2 週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先 (学会事務局)

(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : award@jswe.or.jp

2025 年度「水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞) は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年、年会開催予定地の地区から選出され、本年度は関東支部エリア (茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県) が対象となります。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2026 年 3 月の日本水環境学会第 60 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小学生、中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下 1)～6) の必要事項を記入の上、7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス (自薦も可)

7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)

提出期限 2025 年 9 月 18 日 (木) (必着) 昨年度から、締め切りを 2 週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先 (学会事務局)

(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : arawd@jswe.or.jp

北海道大学大学院地球環境科学研究院教員の公募

募集人員 准教授またはテニュアトラック付き助教 1 (女性限定)

所 属 大学院地球環境科学研究院統合環境科学部門
専門分野 環境問題の理解や解決に貢献できる学問分野 (例えば生態学、地理学、地球科学、化学、工学、生物学、農学、保健科学、医学、社会科学) を含む広い意味での環境科学

応募資格 女性のみを対象とする。着任時点で博士の学位を有すること。また、上記の「専門分野」において優れた研究業績と指導力を有し、学生の教育と研究指導に貢献できる方。

採用予定日 2026 年 1 月 1 日以降の早い時期

応募方法 郵送

応募期限 2025 年 7 月 31 日 (木) (必着)

詳細 URL <https://www.ees.hokudai.ac.jp/?p=9287>

問い合わせ先

北海道大学大学院地球環境科学研究院統合環境科学部門
部門長 野呂真一郎
〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 5 丁目
Tel : 011-706-2272 Email: noro@ees.hokudai.ac.jp

第 44 巻 (A) 11 号 (2021) 特集企画編 「COVID-19 タスクフォースの活動成果と 産学官での社会実装に向けた動き」 別刷配布のお知らせ

この度、第 44 巻 (A) 11 号 (2021) の特集企画編「COVID-19 タスクフォースの活動成果と産学官での社会実装に向けた動き」の別刷を作成しました。当該企画の趣旨を踏まえて、さらに広くご活用いただくために、教育・公益的な目的でのご利用を希望する方へ別刷を無償配布いたします。

別刷をご希望の方は①会員番号 (非会員の方は非会員とご記入ください) ②所属 ③氏名 ④送付先住所 ⑤使用目的 (具体的に) ⑥希望部数を明記のうえ、日本水環境学会事務局まで電子メール (kikaku@jswe.or.jp (@は半角)) にてお申込みください。先着順に受け付けます。なお、今後 PDF 版の公開も予定しています。詳細が決

まり次第、ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

会員は、特集企画編「COVID-19 タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」(第43巻(A)12号(2020)特集),「地環研の躍動」(第43巻(A)2号(2020)特集),「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号(2018)特集),「水環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号(2013)特集)にも残部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡ください。

「水辺の環境活動プラットフォーム」の開設と 会員募集

募集人員 行政、企業、団体、個人会員について幅広く募集

所 属 環境省 水・大気環境局 環境管理課

応募資格 良好な水環境等の保全・活用に関する取り組みやイベント、他の団体等と交流したい案件等がある行政、企業、団体等

応募方法 下記ウェブサイトから登録ください

詳細 URL <https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/>

問い合わせ先

水辺の環境活動プラットフォーム事務局

(いであ(株) 小池瑛子)

E-mail: info◎mizubekankyo.env.go.jp

(送信の際は「◎」を「@」に置き換えてください。)

島津科学技術振興財団 2025年度 島津賞候補者の推薦について

当会受付締切 2025年6月30日(月)(必着)

表彰の対象 科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究及び応用・実用化研究において著しい成果を上げた功労者。推薦依頼学会(当会)からの推薦が必要。

表彰内容 被表彰者1名に賞状、賞牌、副賞500万円

応募方法 下記詳細 URL よりご確認ください。日本水環境学会より推薦書を財団へ提出します。

決定期間 2025年12月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/ssf/spr/apply.html>

問い合わせ先

(公財) 島津科学技術振興財団 事務局

Tel: 075-823-3240 Fax: 075-823-3241

E-mail: admin@ssf2012.onmicrosoft.com

島津科学技術振興財団 2025年度 島津奨励賞候補者の推薦について

当会受付締切 2025年6月30日(月)(必着)

表彰の対象 科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において

独創的成果をあげ、かつその研究の発展が期待される45歳以下(本年4月1日時点)の若手研究者。推薦依頼学会(当会)からの推薦が必要。

表彰内容 被表彰者3名以下、賞状、トロフィ、副賞100万円

応募方法 下記詳細 URL よりご確認ください。日本水環境学会より推薦書を財団へ提出します。

決定期間 2025年12月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/ssf/srpar/apply.html>

問い合わせ先

同財団 2025年度島津賞候補者の推薦と同じ

島津科学技術振興財団 2025年度 研究開発助成の募集(一般公募)

募集期間 2025年7月31日(木)17:00

応募資格 国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者

助成金額 総額2,300万円以下

応募方法 下記詳細 URL より申請書をダウンロードし、直接応募(所属長の承認必要)

決定期間 2025年12月中旬

詳細 URL <https://www.shimadzu.co.jp/ssf/grants/apply.html>

問い合わせ先

同財団 2025年度島津賞の推薦と同じ

2026年～2027年開催 藤原セミナー募集

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目的として、2026年～2027年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け付けます。

当会受付締切 2025年6月30日(月)(必着)

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

開催件数 2件以内

開催費用援助額 12,000千円以内

*セミナーの要件など詳細は下記HPをご参照ください。

申請方法 「藤原セミナー開催申請書」を、所属組織長を経由して財団に提出すること。

問い合わせ先 (公財) 藤原科学財団

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860

URL: <https://www.fujizai.or.jp>

キヤノン財団 2025年度研究助成プログラム 『善き未来をひらく科学技術』

募集期間 2025年5月7日(水)10時～

2025年6月30日(月)15時

応募資格 日本国内の大学、大学院、高等専門学校、

公的研究機関等に勤務する研究者

助成件数 3 件程度
助成金額 1 件あたりの申請額の上限 3,000 万円
応募方法 キヤノン財団ホームページからの電子申請
決定期間 2025 年 8 月～2025 年 12 月
詳細 URL <https://jp.foundation.canon/>
問い合わせ先

(一財) キヤノン財団
 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
 Tel : 03-3757-7432 Fax : 09-3757-0674
 E-mail : found-info@mail.canon

キヤノン財団 2025 年研究助成プログラム 『新産業を生む科学技術』

募集期間 2025 年 5 月 7 日 (水) 10 時～
 2025 年 6 月 30 日 (月) 15 時
応募資格 日本国内の大学, 大学院, 高等専門学校,
 公的研究機関等に勤務する研究者
助成件数 10 件程度
助成金額 1 件あたりの申請額の上限 2,000 万円
応募方法 キヤノン財団ホームページからの電子申請
決定期間 2025 年 8 月～2025 年 12 月
詳細 URL <https://jp.foundation.canon/>
問い合わせ先

(一財) キヤノン財団
 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
 Tel : 03-3757-7432 Fax : 09-3757-0674
 E-mail : found-info@mail.canon

りそなアジア・オセアニア財団 2026 年度 アジア・オセアニア研究助成

A. 調査研究助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の人文・社会科学分野の調査・研究活動へ助成します。(若手研究者育成を目的としたプログラム)

B. 国際学術交流助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等に関する国際会議・シンポジウムの開催を支援します。

C. 出版助成 アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・文化・歴史・政治・経済等の調査研究成果にかかる出版物の刊行を支援します。

応募要項 詳細 URL をご覧ください。

詳細 URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募期間 2025 年 5 月 19 日 (月)～7 月 31 日 (木) 必着
問い合わせ先 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

E-mail : info@resona-ao.or.jp

りそなアジア・オセアニア財団 2026 年度 りそな環境助成

A. 若手枠 アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。

B. 一般枠 アジア・オセアニア地域において、現地活動者と協働して現地の環境問題に取り組む実践活動および啓発活動。ただし、現地において自立的かつ持続的な活動への展開が見込めるものとする。

C. 普及枠 りそな環境助成を受けて成果を挙げた事業における他地域への普及活動や広報活動。

応募要項 詳細 URL をご確認ください。

詳細 URL <https://www.resona-ao.or.jp/>

応募期間 2025 年 5 月 19 日 (月)～8 月 29 日 (金) 必着
問い合わせ先 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

E-mail : info@resona-ao.or.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>

「水環境学会誌・水質汚濁研究 DVD-ROM 版」販売のご案内

水環境学会誌およびその前身の水質汚濁研究の Vol.1～30 の PDF 版を一枚の DVD に納めたものを販売いたします。原著論文だけではなく、企画記事や会告、表紙等、冊子体のすべてのページ（広告を除く）が電子化されております。タイトルおよび著者についてのキーワード検索機能、特集企画タイトルの一覧表が使用できます。これを機に、書棚のバックナンバーを整理しつつ、これまでの日本水環境学会の 30 年の歴史とその知の集積を振り返ってみてはいかがでしょうか。

価 格 表

			価 格
定 価	1 枚		15,714 円（税込み）
会員価格	1 枚		10,476 円（税込み）
会員価格	3 枚組セット		28,286 円（税込み）
会員価格	5 枚組セット		41,905 円（税込み）

別途送料（レターパックプラス）がかかります。

購入方法

1. 購 入 申 込 書 下記のいずれかの方法で入手してください。
 - 1) 本会ホームページ（下記 URL または QR コード）よりダウンロードしてください。
(<https://www.jswe.or.jp/publications/data/index.html>)
 - 2) 本会事務局まで、FAX・郵送または E-mail でご請求ください。
2. 購入申込方法 購入申込書に記入の上、FAX・郵送または E-mail でお申し込みください。
3. 送 付 方 法 レターパックプラス（600 円）でお送りいたします。
4. 支 払 い 方 法 DVD-ROM 版に請求書・見積書・納品書を同封し、購入申込書にご記入いただいた支払方法（銀行振込または郵便振替）の口座をお知らせいたします。いずれも振込料金はご負担ください。
5. 問い合わせ先 公益社団法人 日本水環境学会 事務局
Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352 E-mail：info@jswe.or.jp（@は半角）

